

校長	校長	教頭	教頭	教頭	事務長	主査	係
山本 隆							

両親の集い

収 入
 年 328,170
 経 理 課
 大塚町立法水支援学校



提供：一般社団法人 Hand Jump Art Project「赤富士」

7 第742号 2020

社会福祉法人
 全国重症心身障害児(者)を守る会

両親の集い

障害者・認知症の人が

迅速に避難できる体制の整備を

社会福祉法人御徒町社 理事長 東光 茂

新型コロナウイルスの地域密着型での蔓延は、とどまるところを知らず、3ヶ月前に備がこんなことを予測してました。『二度にして被害は重篤化した』と恐れざるを得ません。

福祉施設関係者は、人々の利用者をこの見えない嵐から守るため、緊急態勢を持って関わってきました。その一方で、特に高齢人ややむを得ず利用型の短期入居は、原則としてストップせざるを得ませんでした。このような時にこそ受け入れたいのに、それができない、つらい状態でした。

そしてやっと緊急事態宣言の解除を受けて、一定の安全確認の下、御水を訪むような話で、徐々に受け入れを再開しています。日中活動支援事業所も同様です。

中日本大震災、熊本地震、昨年の台風19号による水害等で、在宅の家族の孤立感には、業者も気づかざるを得ないものがありました。新型コロナが再発しない中での万一の南海トラフ地震を考えると、愕然とします。

福祉施設が災害時に避難場所として役割を果たすための整備と支援体制等に努めて、ご家族にも事前に準備を整えていただくことの必要性を強く感じています。このことは我々だけでなく、高齢知的障害や認知症の人にも共通します。互いに手を取り合って、障害者・認知症の人が迅速に避難するための体制の整備を図りたいものです。

二 福祉法人全国福祉士会連合会 社会福祉法人御徒町社協議会 会長

もくじ (742号)

障害者・認知症の人が迅速に避難できる体制の整備を (巻頭言)	1
医療・福祉の実践の中で、種かめ勇気づけられてきた「福祉の思想」 口分田政夫	
Ⅰ、人と生まれて人間となる(赤貫一雄) ...	5
Ⅱ、重症心身障害の人格とは? 創り出す (生産) ものは何か?	7
Ⅲ、生涯発達という可能性	11
Ⅳ、実践に基づく福祉思想を未来へ	13
在宅生活を生き生き過ごすために居 抱え込む支援で「地域に生きる、を支える 発達歴史	16
当施設における新型コロナウイルス感染対策 について	18

親の軌跡248 (石川島)	東 幸雄・洋子 23
支部レポートⅡ (熊本県)	坂田和夫 28
親の軌跡249 (長崎県)	藤田恭子 30
巡回療育相談事業 (成海橋)	32
お知らせ	
● 令和3年度「児童福祉週間」 標語募集	33
● 第4回「生命を見つけるフォト ＆エッセー」作品募集	33
あとがき	33

人にやさしいスポーツショップ

上野アメ横 総合スポーツショップ

スポーツジュエーン

大 衆 大 衆

【スポーツ寿苑】各店のご案内

SPORTS
ZYUEN

SPORTS
ZYUEN



1 店 店 110-0005 東京都台東区上野 4-6-3 ☎ 03-3831-7961 ☎ 03-3831-7666	2 ヘリックス店 110-0005 東京都台東区上野 6-9-3 ☎ 03-3836-5057 ☎ 03-3839-0039
A アメ横店 110-0005 東京都台東区上野 4-1-7 ☎ 03-3831-0594 ☎ 03-3831-1640	3 アメ横店 110-0005 東京都台東区上野 6-14-7 ☎ 03-3837-6171 ☎ 03-3837-3351
N アメ横店 110-0005 東京都台東区上野 4-6-4 ☎ 03-5818-3879 ☎ 03-3837-0362	http://www.sportszyuen.co.jp/sportzyuen http://www.shopping.zyuen.co.jp/zyuen

お買物情報・セール情報もリアルタイムに
携帯メールに配信します!

いつでも使える、**10%OFF**
クーポン付き!

会員登録はHPでいつでも情報チェック!
おに詳しく、会員登録も簡単です!
お買物で使えるクーポン! 個人情報は入力も必要ありません。
さらにセール時には期間限定する特大クーポンも配信いたします!

ご希望のメールアドレスで登録でき、ポイントも情報を受け取れます!

下記、ご希望のアドレスへ登録をお願いします!

メール	81510407@passmail.ne.jp
スマートフォン登録 ＆ワンストップサービス	81510401@passmail.ne.jp
スマートフォンアプリ ＆ワンストップサービス	81510406@passmail.ne.jp

※登録したメールアドレスに必ずご登録ください。登録完了までお待ちください。

ともに悩み、ともに行動を！

令和元年1月23日(木)、24日(金)の2日間、広島県で巡回療育相談を実施しました。1日目は東広島市にある障害者リハビリテーションセンターおよび障害者療育支援センター、2日目は引き続き同支援センターを会場に相談会を行いました。スタッフとして、障害者療育支援センターわかば療育課課長の馬場英夫先生、看護部長、理学療法士、広島県西部こども家庭センター職員、東広島市子育て・障害総合支援センターコーディネーターのご協力の賜、守る会は島県支部の会員および、本部職員にて相談員を編成しました。

- 相談状況：全7ケース
- 性別：男……2名 女……5名
- 年齢：0歳～6歳……4名 7歳～18歳……3名
- 相談内容：福祉サービス、教育、習字造

設・実習園、きょうだい児、災害時対応、今後の成長発達など

1さんは6歳の女の子、脳性麻痺の診断があり、気質切開(二重瞼分離)、顔面の吸引胃瘻からの栄養摂取、てんかん発作対応などがみられます。地域の事情として、医療的ケア児が利用できる制度が多くない中、お母様の負担が増え、他のきょうだいと過ごす時間をすることもなかなか出来ず、困っています。そのような中、相談会では、医療的ケア児が利用できる短期入所は無い事が少なく、今後の利用に向けて相談がありました。お母様との話を通し、制度やサービスが十分とは言えない地域において、1さんを含めご家族が安心して暮らすために、多くの支援が必要であることがわかりました。また、専門機関が多くはない中で、医療的ケア児の受入れに対する関係機関の不安も大きくなっていることが伺えました。馬場先生からは、これまでずっとお母様とこられたお母様への労いの言葉とともに、

1さんの状況から、どの短期入所であっても受け入れ可能であり、今後複数箇所を利用に向けて動いていきましょうとの心強いお話がありました。また、お母様のレスパイトや他のきょうだいの事を考えると、短期入所だけでなく、学校看護員の配置等の確保・利用拡大に向けてどのようにするのが良いのか、具体的な動きに關してもスタッフから助言がなされました。

地域により社会資源に差はありますが、それぞれの地域で生活するご本人やご家族の「笑顔で安心して暮らしたい」という思いに変わりはありません。その思いを胸に懸命に頑張っているらっしゃるご家族や支援者の姿を見ると、我々もできることを意に努力し、ともに悩み、ともに行動し、少しでも笑顔で安心できる暮らしの実現に向けて頑張っていきたいと思いました。



中二の巡回療育相談は、財団法人「KIA」による「福徳公益資金」の補助を受けて実施しています。

お知らせ 令和3年度 「児童福祉週間」 標榜募集

前年度の児童福祉週間(5月5日～11日)の標榜を左記の通り募集しています(主催：厚生労働省・社会福祉法人全国社会福祉協議会・公益財団法人児童育成協会)。

- 募集期間：令和2年9月1日(火)～10月30日(火) 当日消印有効
- 応募方法：①ハガキ、封筒またはFAXによる応募。②入札式でも応募可。ただし、①の方式につき一作品。③複数回封筒は不可。
- 応募先：児童育成協会のホームページ内の「令和3年度児童福祉週間標榜募集応募フォーム」から必要事項を入力し、送付。①回の応募につき一作品。
- 応募先：〒730-0088 東広島市千代

田区西条町2-12 西条町テレビビル4階 公益財団法人 児童育成協会「標榜募集」係 TEL：03-5333-7174 FAX：03-5333-7180

お知らせ 第4回「生命を見つめる エッセー」アズムズアズムズ 作品募集

人間や動物のいのちの輝く一瞬を捉えた写真や、医師や看護員、患者との交流をつづったエッセーを募集する。①「生命を見つめるフォト＆エッセー」コンテスト(主催：日本医師会・読売新聞社)の作品を募集しています。

フォト部門は「読売」(2週)をテーマに社会の輝き、大切な生命にささる写真を募集。今回は「小中高生の部」が新設されました。審査員には野村胡堂(写真家)、岩谷亮(動物写真家)、松野下幸雄(文壇・音楽家)が担当。応募先：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 千代田ビル10F TEL：03-3211-1111 FAX：03-3211-1112

てに送ったという想定の手紙」など。審査員には、黄老孟平(東京大学名誉教授/解剖学者)、友南宗久(作家/福泉寺住持)、水野真紀(女優)など。

応募者には賞金・賞状等が送られます。募集期間：令和2年10月7日(木)～必着日：令和2年10月27日(水) 応募先：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 千代田ビル10F TEL：03-3211-1111 FAX：03-3211-1112

あとがき

全国的に新型コロナウイルスの感染が再び増えつつあります。東京圏を除く地域では政府による「G0 Tottowaベネキヤンベネキヤン」が始まり、移動に支障が起きる方もおられます。一方で、コロナ対策の疲れが出てくる頃ではないでしょうか。不安や落ち込み、不眠、緊張など精神面にも注意が必要となります。自分自身を大切にしてください。また、働きかけください。

